



果樹園から
中継



畑から
中継



車が急遽
スタジオに!?

生産者

- 大阪の皆さんとお話できたことが良かった。
- 現場（田んぼや畑）を見てもらえたことが良かった。
- 質問が出ると会話もはずみ、交流が深まって良いと思う。
- 直接現地で交流できるようになるといいですね。



除草のために
田車を動かします

参加者の感想

大阪新婦人

- 政府の農業切り捨ての政策が生産者を追い詰めている。少しでも米や豚肉、大豆など協力していきたい。班でも産直運動に参加する人を広げていきたい。
- 自然の中でのオンライン中継良かったです！広い田んぼ気持ちがいいです。
- 苦勞して作られている産直米は価格に見合ったお米。大企業はたくさん取る方向しか考えていないので、消費者と生産者が協力して日本の農業を守っていくことが大切だと思った。

- ゲノム編集の野菜や魚、聞くだけでもイヤヤー。ふるさと返礼品に使われてるって初めて聞いた。
- 福島原発事故がなかったかのように汚染水を海に流すことは、また風評被害が大きくなる。私たちも福島の人たちと連帯して、これからも原発ゼロの運動を続けていきたい。
- 生産者の顔が見えて、お米を作る苦勞が伝わりました。食べて応援したいと思います。



今期終了となる
トマトジュース



食べる人と作る人の共同 2023年オンライン産直運動交流会

大阪新婦人と生産者との産直運動交流会が6月8～10日オンラインで開催されました。3日間で10回開催され、48支部530人の参加がありました。

今年は米産直30周年の記念の年で、オンラインの待機画面は交流会開始当時の写真で構成されていました。根本会長は「大阪新婦人の皆さんは福島県農民連の育ての母である」と感謝を述べ、改めて長く続く産直運動を振り返ることができました。

- 産直運動を進めるために、農と食に予算をまわす
- 1 食料危機 食の安全
 - 2 畜産危機・無用なミニマムアクセス米
 - 3 原発再稼働・新増設
 - 4 アグロエコロジーの実践へ
 - 5 軍事費より農と食、教育、福祉へ
- 5つのことを重点的に学習しました

交流会は共通レジメで学習を深め、大阪、石川、福島の農民連から現場の様子を生中継し、産直品を生産している田んぼや畑を見てもらい、生産者と交流をしました。

特に福島からは、田んぼで田車（たぐるま、稲の間の雑草を除草しながら土を耕す機械）の実演、果樹園から現在の桃や梨の様子、畑の野菜の様子、会津の小麦栽培の取組みを報告しました。現場からの中継ができるのはオンラインならではのことで、福島の景色を見ながら大変良い交流ができたと思います。また、新規就農者が登場した回もあり、若い方が農業を志した理由や、就農してみてもの苦勞、将来の目標などを話したことは、大阪新婦人の皆さんに大いに興味を持ってもらえたのではないかと思います。

食料自給率が低く輸入頼みの日本は食料をいつでも買える時代ではなくなってきたており、国内の農業生産を増やすことがなにより食料安全保障となります。

大阪新婦人の皆さまの「おいしい」の言葉が生産者の励みになっています。今後交流会を継続し、来年はぜひとも大阪を訪ねたいと思います。

農民連フラッシュ flash

新規就農者と地域サポートを考えるシンポジウム

6月10日、二本松市で行われたシンポジウムに約100名が参加。島根県邑南町、4名のパネリストが就農者の実態や就農をサポートする地域・行政それぞれの立場から意見を述べ、会場とも活発な意見交換が行われました。



持続可能な農業・社会を目指して

6月17日郡山市農業総合センターにて、福島農民連産直農業協同組合第22回通常総会が開かれました。現在大軍拡、物価・飼料の高騰、汚染水海洋放出など様々な問題があり、農民が大変苦しい状況となっていますが、農民連は安全な食料とエネルギーを地域から生産し、持続可能な社会を目指してこれからも活動していきます。



福島農民連の電気購入できます！

福島農民連産直農協が発電している電気を「みんな電力」から購入や応援することができます。再生可能エネルギー100%の電気も選択できます。みんなの選択で地球を冷やしましょう。

<https://minden.co.jp/personal/>



二本松発電所